

女と男は平等なパートナー

人は誰でも、人として尊重され、それぞれにふさわしい環境の下で人間らしく生きる権利を持っています。これは男性であろうと女性であろうとすべての人に与えられた権利です。

ところが、人類の歴史の中で、長い間女性は男性より低い存在と見られてきました。日本にあっても、男女同権への足がかりができたのは、第二次世界大戦後のことなのです。

それから半世紀以上がたち、女性の地位はかなり向上しましたが、今なお女性であるというだけで差別に悩み人権を侵害されている人がたくさんいます。

法制度上では女性の人権を守るさまざまな動きがありますが、現実には女性の就業環境、家事・育児・介護の負担、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）、ドメスティック・バイオレンス（DV）など、さまざま

な問題があります。

この背景には、現代にはふさわしくない、はるか昔からの固定的な性別役割分担意識が今なお残っているからではないでしょうか。

日常的な家庭の仕事分担についてのアンケートをみると、妻（女性）が分担する役割として、「掃除」72%、「洗濯」75%、「食事のしたく」82%、「子どもの世話・教育」69%となっています。

このことから、「男は仕事、女は家庭」や「育児は女の仕事」など固定的な役割分担の考えが残っていることに気づきます。

それとは逆に、男女平等の意識が根づいてきているのも事実であり、女性の社会進出や男性の家事・育児・介護への参加など、多くの場面で変化があらわれてきています。

「女だから、この仕事。男だから、この仕事。」という固定的な分担意識を取り除き、

将来にわたり、活力豊かな社会を築き発展させていく

ためには、これまでの性の区別に基づく慣習や概念にとらわれることなく、男女が平等のパートナーとして共に活動し、最大限の能力を発揮できる環境が必要で

す。これこそが男女共同参画社会の考え方なのです。「女性の権利を考慮することは「男性の人権」を考慮することにつながる、さらには、「女らしさ、男らしさ」より「その人らしさ」が発揮できる社会の実現につながるのです。

参考・引用

アンケートは、2014年発行「第2次小松島市男女共同参画計画 こまつしま女（ひと）と男（ひと）のハーモニープラン2」より引用

市人権推進課（教育庁舎1階）
TEL 32・2122
FAX 33・3525
Mail: jinkensuishin@city.komatsushima.tokushima.jp

市民文芸 花みずき歌壇 (313) 松並敦子・選

曲がることを許され曲がるみな曲がる腰を痛めし兄の胡瓜は

ひのみね総合療育センター 関 政明

《評》曲がった胡瓜は年老いて腰を痛めた兄の姿と重なり、「曲がる」の語を畳みかけるように三回使ってキュウリを擬人的に表現。もう昔のように真っ直ぐで立派な胡瓜を作れなくなった兄に思いを馳せ、それでも兄の胡瓜の美味しさとつかしい味が読者にも伝わってくるようだ。ユーモアと哀愁の感じられる作品である。

息子の友より今年も届くふるさと名物半田ソーメン夏野菜数多

横須町 三宅 敏恵

リハビリに向かう車窓の山裾に夾竹桃見ゆ盛夏呼ぶがに

神田瀬町 大西カヲル

思い出は祖谷の吊橋渡るとき手を添えくれし夫の温もり

赤石町 田原トシ子

仰向けに転んで打ちし背の痛みいまだに残る怨念のごと

小松島町 川人 豊子

娘の庭に亡夫の手植えの合歓の花見上ぐるばかりに育ちうれしも

横須町 福島 夢栄

みちのくの痛みはそのままにして片や東京五輪声高に言う

立江町 浜 耕一

入院中はカレンダーとにらめっこ退院後のスケジュール組み

榎瀬町 松下 玉枝

台風にいたぶられたるグラジオラス黄色五本が庭に泣く朝

江田町 深田 伴子

色褪せしゴルフのトロフィー並びいて兄亡き後に腕前を知る

田浦町 太田カツミ